

■モードセル工法の認定審査は間もなく終了します

モードセル工法は液状化地盤に建築する四号建築物に対する液状化対策工法であり、現在公益法人で認定審査を受けております。3月末には審査が終了し、その後実施を予定しております。

■第7回基礎塾から説明してきました

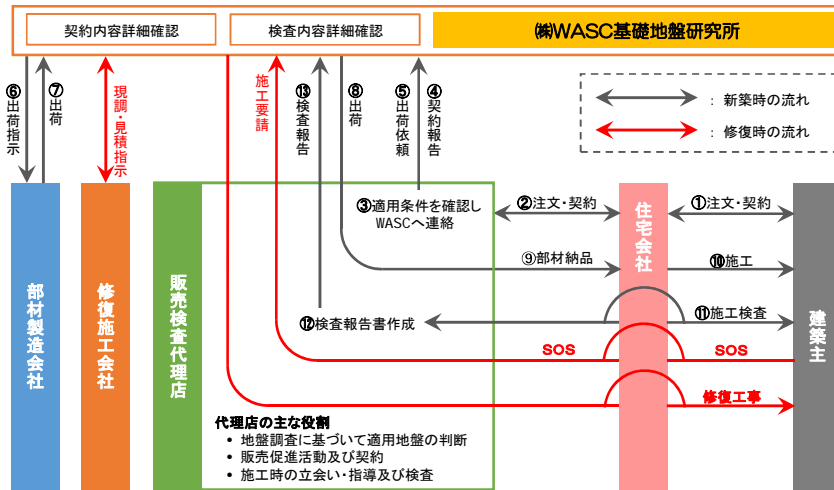
基礎塾の講座の中で、地盤の液状化機構と各工法の費用対効果、及び液状化についての建築主との会話の重要点等を説明してきました。

■普及は販売検査店をお願いします

モードセル工法の実施にあたり、販売並びに施工検査を販売検査店に委託します(数社に打診済)。また液状化で不同沈下した住宅の修復工事は、専門の修復施工会社に委託します。

■販売検査店として願う目安

目安の一つとして、基礎塾全講座受講の卒業生が複数名在籍する会社と考えております。



■今年はまだ液状化元年

4月から液状化地盤の情報提供制度が始まり、住宅会社並びに地盤調査・補強会社は、今まで以上に真剣に液状化に取り組まなければならない時代となります。しかしながら、建築主が負担できる費用額内の工法が少なく、かつ費用対効果が明確でない工法もあるという状況で、建築主が安心できる説明と提案ができないのが現状です。モードセル工法は、まさしくこの現状を打破できる工法と確信しています。

■モードセル販売検査店で競争力強化を！！

地域の販売検査店となり、液状化を心配される建築主にモードセル工法を実施して頂く、これは大きな社会貢献であると同時に、同業他社に対する競争力の強化に繋がります。



株式会社WASC基礎地盤研究所

大阪府茨木市上中条2-5-37 すばるビル202
 TEL 072-625-3630 FAX 072-625-3631
 E-mail: info@wasc-lab.jp
 URL: http://www.wasc-lab.jp

- 主な業務 ● 工法の研究開発と販売 (WASCパイプフォーム関連商品、MO鋼管杭工法、モードセル工法、シートバック工法他)
- 地盤、基礎に関わる事故に伴う調査と意見書、鑑定書の作成
 - 啓蒙活動 (基礎塾の開催、執筆、講演他)
 - 新工法開発に伴う公益団体への審査の支援
 - 試験 (改良土・軸圧縮試験、配合試験/地盤の各種試験)
 - 会員会社へのアドバイス
 - 公益機関、国の委員
 - “住宅の液状化被災を減らす研究会”主宰

第10回 基礎塾 開催のご案内

平素は大変お世話になり誠にありがとうございます。
 弊社は4月11日で創業から丸10年となります。ここに至れましたのは皆様方からのご支援、ご指導の賜物であり、深く感謝しております。
 創業からの想いである基礎塾を、今年も開催致しますのでご案内させていただきます。
 基礎塾も今回で第10回を迎え、新しい内容・講座を設け、充実した内容となりました。
 多くの皆様方のご参加を心よりお待ちしております。



第10回 基礎塾がめざすもの

1: 未経験者でも理解し易い基礎塾

毎回、新入社員や他業種から転職の方々等に沢山受講して頂いています。これらの方々にも理解し易く、面白い講座、これを今回も目指します。SWS試験が主の住宅地盤で、難しい解析や計算は極力避け、実物あるいは模型での理解に重点を置きます。

2: 実際の事故事例に基づいて「不同沈下防止」を解説します

(1) 今回も「盛土地盤」を取り上げ、SWS試験での調査と考察のコツを解説します

法律、建築学会指針及び保証会社のバックアップ等により、住宅の不同沈下事故は少なくなっているかと思いがちですが、弊社に届く紛争内容・件数から、まだまだ安心できる状況ではありません。

不同沈下事故の原因の多くは盛土にあり、盛土荷重による旧来地盤の沈下、もしくは盛土自体の収縮による地盤沈下です。前者は「圧密沈下」と言われており、ある程度は警戒されています。しかし、後者は全くノーマークで、多くの事故原因になっています。これに対して戸建て住宅の地盤調査の多くはSWS試験ですが、この試験は盛土を判断できるものではありません。

(2) 事故例の中から施工の不備を解説します

「地盤補強しているが不同沈下した」という事件があります。多くの地盤補強対策工法が実施されていますが、いずれの工法にも品質確保のための大事なポイントがあり、それが無視された結果です。無茶な考えによる事故例を解説します。

3: 地震に対する備えを解説します

本年4月から住宅性能表示制度において、液状化発生可能性の情報提供が追加されます。これを受けて、我々は液状化の可能性の可否と、「可」である場合はいかなる対策工事があるのかを提案しなければなりません。このために、費用対効果を考えたモードセル工法®を今春(予定)から販売を開始します。

4: 見学会を開催します

大阪会場の10月講座は阪神大震災関連施設の見学、東京会場の11月講座は千葉県浦安市で今夏着工予定の既存敷地での格子状地盤補強工事の見学をそれぞれ予定しています。

5: 基礎塾卒業生の再受講希望に応えます

卒業生は既に900名を超えており、この方々からの「もう一度受講したい」との声に応え、再受講の方々を受講料半額にて歓迎します。

2: 開催場所・期間・時間

会場名	会場となる施設名	最寄り駅	開催期間	実演時間	講座時間
大阪	茨木市福祉文化会館	JR東海道線 茨木駅	2015年3月～11月 各月1回 全9回	10:00～12:00	13:00～16:00
東京	戸田市文化会館	JR埼京線 戸田駅	2015年4月～12月 各月1回 全9回	9:30～11:00	12:00～14:00

3: 講座内容

会場と日程		講座内容		客員講師
大阪	東京	講座名	実演内容	
3/17	4/21	1: 不同沈下はなぜ起こる? 不同沈下の実態とその原因を解説	実演無し 確認試験を実施	
4/15	5/20	2: 不同沈下を見破る地盤調査	標準貫入試験、SWS試験、載荷試験他	ジャパンホームシールド㈱ 大和眞一氏 (SDS地盤調査)
5/13	6/23	3: 不同沈下防止工法 その1 鋼管杭 自然災害から建物を守る	回転貫入鋼管杭: 継手(現場溶接・機械式)、載荷試験他 柱状改良工法 : 柱状改良、芯材柱状改良、どんぐりくん、 深部改良土の採取、アルカリ反応の確認他	㈱トラバース 大阪会場: 松田強氏 東京会場: 渡辺氏又は相沢氏 (タイガーパイル他)
6/中旬	7/24	その2 柱状改良 全品質現場実現工法	実演無し	旭化成建材㈱ 園松論氏 (CSV工法)
7/中旬	8/25	その3 表層地盤改良と版築 1400年の実績 ～版築工法とその延長の表層改良～	表層改良: 溝状表層改良、飛散防止改良材、改良土の採取、 アルカリ反応の確認 土の工法・各種擁壁: 実物展示にて説明	コングロエンジニアリング㈱ 石田哲也氏 (MS工法)
8/中旬	9/下旬	その4 斜面・擁壁・造成 不同沈下防止の大前提は、擁壁や敷地の安定	大阪会場: 実演無し 東京会場: 性能証明された木杭の施工実演 (実演・講座ともに埼玉県八潮市にて実施予定)	東京会場のみ 兼松日産農林㈱ 水谷半介氏 (環境パイル)
9/中旬	10/下旬	4: 液状化地域での建築と被災低減のための 地盤調査と対策、モードセル工法の詳細	砕石工法 モードセル工法: 実物基礎・実大模型	ハイスピードコーポレーション㈱ 堀田誠氏 (砕石工法)
10/中旬	11/下旬	5: 現場見学 大阪会場: 淡路島・神戸の施設にて阪神大震災を学ぶ 東京会場: 千葉県浦安市における既存住宅街区での格子状地盤改良工事 (注1) 現場見学は、前月の液状化講座を受講された方に限りです (注2) 浦安市の現場見学は、着工が遅れた場合には変更の可能性があります(現時点では8月頃着工予定) (注3) 詳細は内容が決まり次第改めてご連絡致します		見学施設・現場のご担当者
11/中旬	12/中旬	修了式・記念講演会 (注) 内容・会場は変更の可能性があります	講師: 高森洋 「モードセル工法の進捗状況」 藤井衛先生 (東海大学建築学科教授)	

(注) 大阪会場の6月以降、東京会場の9月以降の日程は、決まり次第ご連絡致します。

- 長年の経験に基づく水際の技術を話せるのは塾長だけ
予算の限られた戸建住宅に対して、建前だけを説明せず、受注金額の中で事故を起こさない水際の技術を説明
- 開講日と最終講座に確認試験を実施、また毎月の講座で宿題を出すことで自身の不明点と知識習得を確認

第9回基礎塾での施工実演の様子



SWSで土を採取

地盤応力を見る平板載荷試験

性能証明された木杭の施工

どんぐりくんで残土無

溝状表層改良の施工

擁壁を後ろから見て・触って理解

砕石工法は軽装備

WASC土の工法

鋼管杭の貫入ピッチを実感

4: 受講費用

毎月の各講座は連動しております。このため部分講座の受講は理解し辛いのが今までの実情です。全ての講座を受講されることをお奨めしますが、部分講座の受講でも構いません。

1: 受講費用

詳しくは別紙「受講費用一覧」をご覧ください。

2: 受講費用の割引特典

(1) 今回初めての方

下記のいずれかに該当の場合は、受講費用を講座毎に1,000円割引します。

但し、重複の割引はできません。

イ) 全講座受講のお申し込みを頂き、第1回目の講座までに全額をお振込み頂ける方

ロ) 次に該当する方会社の社員

・WASCパイプフォームをお買い上げ頂いている会社

・改良体の一軸圧縮試験をご用命頂いている会社

(2) 再受講の方: 半額とします。

(3) 学生の方: 各講座3,000円(テキスト代含む、税込)、記念講演1,000円とします。

(4) 無料受講の特典

受講費用を先にお振込みの方で、講座を欠席された場合には、翌年に限り受講費用免除で受講できます。

第9回で欠席された方で再受講をご希望の方も、添付の受講申込書でお申し込みください。

5: 受講のお申し込みとお支払い

1: お申し込み方法

別紙申込書にご記入のうえ、FAXでお申し込みください。折り返し受付書を返信致します。

2: お支払い方法

受講費用のお支払いは下記の2通りです。ご注意ください。

・予めお振込み頂く E 途中で欠席された場合、原則として返金致しかねますが、代理受講は構いません。

・毎月の開講日に受付でお支払い頂く

6: 著書の購入をお勧めします

下記の著書を基礎塾講座内での副教材として使用します。受講申込書に記載して頂くか、開催日に受付でもご購入可能です。

○PHP研究所刊「地盤と基礎 100の疑問」 (1,234円/冊 税込)

○講談社刊「地震に強い家にできる 80の方法」 (1,404円/冊 税込)

E 同時に2冊お買い求めの場合は、2,600円とさせていただきます。

第10回基礎塾 受講費用一覧

基本受講費用と割引受講費用があります。

1. 基本受講費用

- 全講座を受講し、受講日毎に受付でお支払い頂ける方 …………… A

2. 割引受講費用

- 全講座を受講し、かつ第1回目の講座までに全額をお振込み頂ける方 …… B
- 一部の講座を受講で、下記の何れかに該当する方 …………… C
 - ①パイプフォームをお買い上げの会社の方
 - ②一軸圧縮試験をご用命頂いている会社の方
- 学生の方 …………… D
- 以前基礎塾を受講され、再受講を希望される方 …………… E

講座名		会場		受講費用(各講座共にテキスト代込・税込、円)			
		大阪	東京	A	B = C (Aから1,000円割引)	D	E (Aの半額)
		開催日 ^{※1}	開催日 ^{※1}				
1: 不同沈下はなぜ起こる?		3/17	4/21	19,000	18,000	3,000	9,500
2: 不同沈下を見破る地盤調査		4/15	5/20	20,000	19,000	3,000	10,000
3: 不同沈下防止工法	その1 鋼管杭工法	5/13	6/23	20,000	19,000	3,000	10,000
	その2 柱状改良工法	6/中旬	7/24	20,000	19,000	3,000	10,000
	その3 表層改良工法、版築、土のう	7/中旬	8/25	20,000	19,000	3,000	10,000
	その4 斜面・擁壁・造成	8/中旬	9/下旬	20,000	19,000	3,000	10,000
4: 液状化地盤での建築と被災低減、モードセル工法 [®]		9/中旬	10/下旬	20,000	19,000	3,000	10,000
5: 現場見学	大阪: 阪神大震災関連施設	10/中旬	11/下旬	19,000	18,000	3,000	10,000
	東京: 既存住宅街区での連壁工事(浦安市)						
修了式・記念講演会		11/中旬	12/下旬	5,500	4,500	1,000	3,000
合計金額(円)				163,500	154,500	25,000	82,500

ε 今年度よりテキスト代込の費用設定としております。

大阪会場の9・10月、東京会場の10・11月は連動しておりますので、現場見学のみの受講はできません。現場見学をご希望の方は、「液状化・モードセル工法」の講座を合わせてお申し込みください。

